

委員会提出議案第2号

北東アジア地域に非核地帯設立を求める意見書の提出について

北東アジア非核地帯設立を求める意見書を別紙のとおり提出するものとする。

平成23年3月25日提出

秦野市議会総務常任委員会

委員長 小菅基司

提案理由

恒久平和を願い核兵器廃絶への取り組みとして、北東アジア地域での非核地帯の設立を近隣諸国に働きかけるよう、国に意見書を提出するものであります。

## 北東アジア地域に非核地帯設立を求める意見書

本市は平和都市宣言や秦野市平和の日を制定するとともに、日本非核宣言自治体協議会と平和市長会議に参加し、恒久平和の構築に積極的に努めている。

しかし、核兵器廃絶への歩みは遅く、また、通常兵器の超高度化が進む中、私たちの平和の確保は武力に頼らない安全保障の構築しかなく、武器の使用は地球環境の汚染にも大きな悪影響を及ぼしている。こうした中、日本非核宣言自治体協議会の決議文や長崎平和宣言にも盛り込まれた北東アジアの非核地帯化は、現実的で有効な安全保障体制であり、非核地帯の拡大は核兵器の有用性を低下させ、核兵器廃絶を促し、世界の安全保障に寄与するものである。

したがって、国においては、北東アジア地域での非核地帯化構想について、近隣諸国への具体的な働きかけを行うよう、求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年3月25日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣 様  
外務大臣  
防衛大臣

秦野市議会議長 平 沢 信 子